



最終日の9月5日は、宮城県に場所を移し、石巻市立橋浦小学校にて子どもたちのために酪農体験を行いました。橋浦小学校では、昨年度も同様の形で出前授業を実施しており、2年連続の体験となります。

体験に先立ち、橋浦小学校近隣の酪農家で、震災前に独自で子どもたちに酪農体験を提供していた佐々木豊一郎さんをお招きし、子どもたちとの交流や被災体験についてお話をいただきました。現地での復興に向けた決意が伝わってきましたが、お話の中には、参加した会員が言葉を失うほどの衝撃的な被災体験も多くありました。

橋浦小学校には、昨年に引き続き、学校が被災して授業ができなくなった吉浜小学校、相川小学校の子どもたちが一緒に通っています。来年度からは、石巻市立北上小学校として、3校合併しての再スタートとなるとのことでした。

午後1時より、この3校の全校児童146名を対象に、子牛シャンプー、お散歩、哺乳・搾乳体験、バター作り体験など、前回と同様のプログラムにて酪農体験を行いました。また、最後になる6年生には、体験終了後に追加の酪農体験を実施するとともに、子どもたちに酪農家からのメッセージを贈りました。

橋浦小学校の出前授業では、全国21会員から、当日人員等の協力をいただきました。また、全国12会員からアイスクリーム・ジェラート類の提供をいただきました。子どもたちや先生方に配布し、ひと時の癒しを提供できました。この場をお借りして御礼申し上げます。



橋浦小学校
宮城県

校長挨拶



牛とふれあう子どもたち



6年生に語りかける安原栄蔵氏



全体集合写真

第13回代議員会決定事項について（ご報告）

平成24年5月23日（水）に、本会の第13回代議員会が開催されました。代議員会では、平成23年度活動報告並びに決算報告、24年度活動計画並びに予算案、東日本震災復興支援酪農体験助成事業の実施、理事定数を実態に合わせるための活動要領の一部改正、その他の事項が承認されました。

代議員会終了後は、我々が消費者交流活動をこれからも続けていくために重要なポイントである、家畜伝染病予防法一部改正並びに飼養衛生管理基準の一部変更について、農林水産省から川田良浩課長補佐を招き、変更点の概要と酪農経営で求められる対応について講義いただきました。

講義の後は、出席した代議員・理事・ブロック事務局から質問が多数出て、会員の疑問点の解決、意識の向上につながりました。また、酪農家としての意見を直接聞いかけ、国の積極的な対応を引き出すことに努めました。



第14回代議員会のご案内

平成25年度（第14回）代議員会は、平成25年5月23日（木）に開催いたします。代議員の皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、年に1度の機会ですので、是非ともご出席くださいますようお願いいたします。



事務局からの ご挨拶

平成24年度のDFニュースをようやく皆様にお届けできるようになりました。今年度は、東日本震災復興支援酪農体験「モーモースクールキャラバン」や、2泊3日の全国・新人研修会など盛りだくさんの活動内容でお届けいたします。酪農経営が厳しさを増す中で、本会活動も正念場を迎えますが、今後ともよろしくお願いたします。最後になりますが、3月に中央事務局の担当が交代いたします。これまでの皆様のご協力に感謝いたします。

発行日/2013年3月 発行/地域交流牧場全国連絡会 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-109 DF(社) 中央酪農会議内
TEL:03-3219-2624 FAX:03-3219-2622 ホムページURL: http://www.dairy-farm.jp/

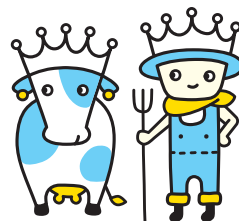


特集：平成24年度 全国・新人研修会開催

モーモースクールキャラバンを綾里、長部、橋浦で開催

平成24年度地域交流牧場全国連絡会

全国・新人研修会を開催



開催概要とスケジュール

開催概要

日時：平成24年10月17日（水）～19日（金）
場所：北海道（札幌、旭川、帯広）

10月17日（水）

札幌：研修講演（北海道宝島旅行社：鈴木宏一郎氏）
旭川：旭山動物園 説明・見学
カムイ大雪バリアフリーツアーセンター同行
帯広：フットバス・チーズ研修会

10月18日（木）

札幌：石屋製菓ファクトリー
きょうさいサロンにて新人研修会
旭川：カムイ大雪バリアフリーツアーセンター
障害について
帯広：帯広農業高校視察
三部牧場視察

10月19日（金）

札幌：開会・来賓挨拶
東北ブロック 東日本大震災の現状報告
講演会（米田敏也氏：帯広農業高校校長）
SNSに関する講習
各ブロック発表会

全国・新人研修会を盛大に開催

平成24年10月17日から19日にかけて、1年に1度の大会イベント、地域交流牧場全国連絡会平成24年度全国研修会を、北海道を舞台に、札幌、旭川、帯広の3か所で開催しました。

参加者は、17日に札幌、旭川、帯広の各会場に入り、札幌では広報部会・新人向けのプログラム、旭川では交流部会向けのプログラム、帯広会場では製造部会向けのプログラムにより研修を実施しました。

18日午後からは、3会場の参加者が合流し、全体研修を実施しました。全体研修では、福島県の会員である黒沢寛寿さんから、東日本大震災の被災地の現状を報告した後、北海道帯広農業高等学校の米田（こめだ）敏也校長から、教育現場での酪農後継者の育成をテーマにした記念講演を行いました。その後、吉田恭寛副会長から、会員同士の交流におけるSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用をテーマとした講義を行いました。

最後に、札幌・旭川・帯広各会場の研修成果を共有し、各会員の今後の活動に生かすため、各会場代表者からの研修成果発表が行われました。北海道ブロックの小川さん・渡辺さんによるパワーポイントを活用した発表により、大いに盛り上がりました。また、札幌会場の新人からも研修内容を踏まえた興味深い成果発表が行われ、ディスカッションに参加してみたかった、しっかり発表できていて驚いたなどの感想が寄せられました。

札幌会場では、広報部会向け、新人向け内容の研修を実施しました。

17日は、北海道宝島旅行社の鈴木宏一郎社長を招き、地域と連携しながら牧場を観光資源として活用する方法や、牧場からの情報発信方法についての講演を受け、グループワークによる研修を実施しました。

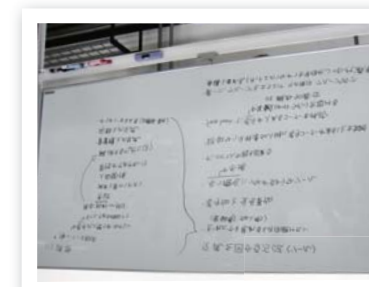
18日は、新人研修会として、本会の歴史や活動についての講義の後、グループワークにより、SNS等を活用した会員同士の日常的な情報交換の方法について意見交換しました。

参加者アンケートからは、自分の牧場を見つめなおすきっかけになった、若手同士の交流が図れた等の意見がありました。

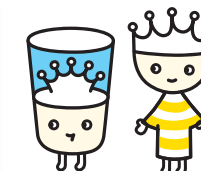
札幌会場



参加者同士の議論の時間

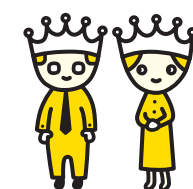


研修結果はホワイトボードに



講師の鈴木宏一郎氏

旭川会場



旭川会場では、交流部会向けの研修を実施しました。

17日は、旭山市旭山動物園にて、カムイ大雪バリアフリーツアーセンターから講師を招き、車いすに乗った時の視点の違い、動きの違い、介助の大変さ等を体験しました。歩けばなんでもない登り坂でも、車いすだとすぐ登れなくなってしまい、車いすの大変さを痛感したようです。

18日は、バリアフリーツアーセンターの講師の方から、北海道ブロックで作成した車いすでの酪農体験DVDを題材に、牧場や酪農体験におけるバリアフリーの考え方について研修しました。

参加者アンケートからは、障害者の方の目線でものを見る体験をすることが出来た、今後の参考にしたい、障害者の行動意欲に感心した等の意見が寄せられました。



車いす移動体験中



バリアフリーツアーセンター講義



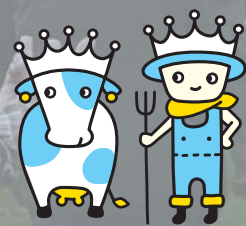
帯広会場

帯広会場では、製造部会向けの研修を実施しました。

17日は、十勝千年の森・フットパスで雄大な十勝の自然を満喫した後、ご当地牛乳など7種の製法が違う牛乳のテイastingを行いました。特別牛乳や低温殺菌牛乳、ノンホモ牛乳、会員牧場の牛乳など、それぞれの牛乳の味の違いに驚くこととなりました。続いて、北海道のチーズ工房の様々なチーズを味わうとともに、カフェキサラの三浦史寛総料理長より、チーズを活用した家庭でもできる美味しいレシピや、会員牧場である帯広農業高等学校の野菜や黒豚を使った料理などをご提案いただきました。

18日は、会員牧場2箇所の視察を行いました。1件目は、マンガ大賞2012を受賞した酪農マンガ「銀の匙 Silver Spoon」の舞台となった帯広農業高等学校で、普段体験を担当する高校生の案内のもと、学校の施設や牛舎、育成寮などを視察しました。2件目は、ハルニレの木で作ったツリーハウスで宿泊体験などの受入を実施している鹿追町の三部牧場を訪問し、牧場主の三部正司さんから話を伺いました。

参加者アンケートからは、美味しい楽しい研修になった、子どもたちのはしゃぐ気持ちが分かった、などの感想がありました。



帯広農業高校は、漫画「銀の匙」のモデル



北海道産牛乳の飲み比べを実施



帯広農業高校では、先生と生徒がお出迎え

「モーモースクールキャラバン」を 3カ所で開催

本会では、東日本大震災で被災した子どもたちの心のケアを行うとともに、震災からの復興を支援しながら、本会の活動を通じて酪農への理解を広げることを目的として、東北生乳販売農業協同組合連合会の協力もいただき、東日本大震災復興支援酪農体験（出前授業）「モーモースクールキャラバン」を、平成24年9月3日～5日にかけて実施しました。

平成23年度から、酪農体験を2年続けたことで、一層子どもたちの笑顔を取り戻すことができたと考えております。



9月3日は、本会東北ブロックの主催により、岩手県大船渡市の綾里小学校で、3年生20人を対象に酪農体験を実施しました。

午後1時30分から、東北ブロックの3会員が参加し、乳牛とのふれあい、搾乳体験、バター作り等を実施しました。

翌日9月4日からは、畜産経営支援協議会と協力し、本会の全国的な取り組みとして実施しました。

4日の会場となった岩手県陸前高田市の長部小学校には、学校が被災して授業ができなくなった気仙小学校の子どもたちも一緒に通っています。また、仮設住宅が校庭に建設されており、校庭の大部分を占有しているため、子どもたちがのびのびと運動することも遊ぶことも難しい状況にあります。こうした中で、午前9時30分より、2校の全校児童118名を対象に、乳牛とのふれあい、子牛のお散歩、搾乳体験、バター作り体験等を実施しました。

長部小学校の出前授業では、綾里小学校で酪農体験を提供したスタッフも合わせて、全国から18の会員の協力をいただきました。また、全国10会員からアイスクリーム・ジェラート類の提供をいただきました。アイスクリーム類については、子どもたちや仮設住宅にお住まいの皆様へプレゼントしたところ、大変喜ばれました。この場をお借りして御礼申し上げます。



バター作り体験の説明



子牛とのふれあい



乳搾りの説明



バター作り体験も実施



最初に挨拶する校長先生



乳牛とのふれあい

綾里小学校
岩手県

長部小学校
岩手県